

重要施策に係る町民説明会 開催結果について

◆重要施策事業の財源内訳◆

単位：千円

事業名	総事業費	国庫支出金	地方債	その他	一般財源
道の駅・鉄道資料館整備事業	889,688	220,534	450,000	0	219,154
追分地区児童福祉複合施設整備事業、 庁舎再編・再配置事業	1,253,010	106,706	557,300	220,000	369,004
防災情報告知ネットワーク構築事業 (あびらチャンネルの整備)	500,278	91,800	285,000	40,000	83,478
合計	2,642,976	419,040	1,292,300	260,000	671,636

※各事業において、国や北海道の補助金・交付金制度を活用する予定であり、その採択の決定により地方債や基金等の配分が決まることから、内訳は平成27年3月現在の見込額となります。

町民説明会における主な意見・質問に対する町の考え方などについて

全体を通じた意見・質問

Q 事業費規模が大きいことから、将来的な財政運営について心配です。また、事業財源の見通しについて教えてください。

A 町では、将来にわたる健全な財政運営を進めるため、重要施策に伴う事業を含めた後年度にわたる財政推計を行い、これら事業の立案をしています。

また、これら事業の財源については、国や道からの補助金・地方債・基金の活用を予定しており、可能な限り町の負担を軽減することとしています。

特に、地方債については、元利償還金の70%が後年度の普通交付税に算入される過疎自治体・合併自治体が利用できる地方債等を活用することで、町の実質的な負担を軽減していきます。

*各事業の財源内訳については、上の表をご覧ください。

《そのほかの意見・質問》

- ・人口減少対策と道の駅事業の関連性が分かりにくい。
- ・今回の重要施策に係る事業への投資だけでなく、地元生産者のための農業振興策、子どもの教育・学習環境に対しても、しっかりと投資をしていただきたい。
- ・今回の重要施策の根幹は人口減少対策にあり、それを踏まえて事業を行うものと理解していることから、将来を見据えて今から対策を講じるべき。
- ・人口確保、人口減少対策は簡単に結果が出ないが、提案されているハード事業とともに他自治体にはない特色あるソフト事業の展開を進めてもらいたい。
- ・重要施策に係る各事業に期待していることから、事業の早期実施を望む意見